

1-3 進路の学習

進路の計画

1. 題材設定の理由

自分の進路を決定する第一の要因は、自分が将来就きたい職業や実現したい夢・希望である。中学生ともなれば、「野球選手になりたい」「キャビンアテンダントになって外国へ行きたい」という単なる憧れから、「パソコン関係の会社へ入って自分の特技を生かしたい」「福祉に興味があるので、将来は福祉関係の職場に就職したい」という、現実味を帯びた夢や希望に変わってくるものである。

本時では、前時の自分が抱いていた夢・希望を実現するために「進路学習」が必要なことや中学校3年間を通して学習する内容を理解させ、主体的に「進路学習」に取り組もうとする意欲・態度を育成したい。

2. 指導のねらい

自分の夢や希望を実現するために、中学校3年間で「進路学習」を行うことの意義を理解させ、学習内容の把握を通して主体的に学習しようとする意欲・態度をもたせる。

3. 指導計画（全1時間）

本 時	・進路学習の意義を理解し、自分の夢や希望の実現に向かって、計画的に学習することの大切さが分かる。
事 後	・P.11②の「学びたいこと、調べたいこと」を学級通信でクラスの仲間知らせる。

<説話例> 「進路先送り、人生の遠回り」

Cさんは看板業を営んでいる42歳の働き盛りです。彼は大学卒業の学歴をしていますが、看板業の世界に飛び込んだのは、実は30歳になってからでした。それまでは転職を繰り返しながら、自分に適した仕事を探していたのです。彼は中学生だった頃、「高校・大学へ進学するのは当たり前。大学で就職のことは考えればいい。」と思い、将来の夢や希望をもたないまま普通科高校を選択し、大学も合格できる範囲で選択したのでした。彼は大学を

卒業した後、塾の講師やガソリンスタンド・自動車の板金・清涼飲料会社に就職しましたが長続きしませんでした。そんなCさんが最後に出会ったのが看板の仕事だったのです。彼は看板屋で10年間修行した後、昨年の春に独立して自分の店をもちました。Cさんは言います。「もっと早く看板業に出会っていればなあ。中学生や高校生の時に、もっと自分の将来の職業や夢を見据えて進路を決定していれば、30代で書道教室へ通わなくてもよかっただろうし、もっと早く独立して自分の店がもてただろうに……。」

	活動のねらい	活 動 の 内 容	指導・援助の留意点	資料等
は じ め の 活 動	・自分の夢や希望を確認し、夢の実現に向かって先輩たちが大切にしてきたことが分かる。	◎自分の将来の「夢や希望」を確認する。 ・P.7④を確認する。 ◎資料「中学生のみなさんへ」を読んで、S男さんは何を私達に言おうとしているのかを考える。S男さんが言おうとしていることをP.11①に記入する。 ・進路を決定するまでの進路の見方・考え方や勉強の仕方が大切だ。 ・進路の学習を通して、計画的に卒業後の進路や自分の夢の実現に向かうことができた。	・範読を聞きながら、S男さんが言いたい所にアンダーラインを引く。	・P.7④ ・P.10のS男さんの手紙 ・P.11①
	課題：これからの進路学習の内容を知り、自分の夢や希望を実現していくために、どんなことが必要なのか考えよう。			
中 心 的 な 活 動	・進路学習の意義が分かり、中学校3年間で学習する内容を把握することができる。	◎自分の夢や希望の実現に向かって取り組まなければならないことが分かり、進路学習の意義を理解する。 ・P.11の「進路の道すじ」について先生から説明を聞く。 ・自分の夢や希望の実現に向かって取り組まなければならないことがわかる。 ・進路学習の大切さや意義を理解する。 ◎進路学習の内容を知る。 ・目次で各学年の学習内容を知る。 ・「進路の道すじ」と比較しながら、各学年の学習内容を把握する。 ①自己理解…1-7, 2-8, 資料編③, ④ ②進路の計画…1-1・2・3・8・9, 2-9, 3-1・2・6・7・8, 資料編⑤ ③進路情報…1-5, 2-2・3・4・5・7, 3-3・4・5, 資料編② ④勤労観・職業観…1-4・6, 2-1・6, 3-9, 資料編①	・S男さんが言おうとしていることと進路学習を結びつける。 ・「進路の道すじ」を電子黒板に拡大して黒板に貼付する。 ・「進路の道すじ」を4つの視点から説明する。 ①自己理解 ②進路の計画 ③進路情報 ④勤労観・職業観 ・生徒にページをめくって目次を出させ、1学年から順番に確認させる。 ・電子黒板に貼付した「進路の道すじ」の4つの視点と絡ませて、学習内容を理解させる。	・電子黒板「進路の道すじ」 ・P.11「進路の道すじ」 ・表紙裏の目次
ま と め の 活 動	・自分の夢や希望の実現に向かって、積極的に取り組もうとする意欲をもつことができる。	◎進路学習について「学びたいこと、調べたいこと」をP.11②に記入する。 ◎本時のまとめを発表する。	・生徒一人一人の「知りたいことや学びたいこと」は、学級通信に掲載して紹介・交流する。	・P.11②